

特定非営利活動法人



ふぁみりあネット

Wave

フニーク

第87号

令和5年 冬だより

P8 バスで行く視察研修旅行

～車窓から～

朝日に輝く富士山(行き)→

夕日を纏う富士山(帰り)↓

撮影:杉浩子理事



■■■ 主な内容 ■■■

- P.2 心動かすものはありますか？ 理事長 夏目智子
- P.3 男女共同参画 講演会
浅野幸子氏「高めよう！共助と支援の質 防ごう！災害関連死」
- P.4 環境保全 「親子でゴミ減量作戦」他
- P.5 福祉の増進 ふくろいファミリー・サポート・センター
子どもの育成 放課後児童クラブ
- P.6 環境保全 花壇植栽
他団体交流 2023 ふらっと祭
審議会報告 人権文化創造講演会
- P.7 役員研修 上野千鶴子氏 講演会 他
- P.8 文化振興 会員研修旅行 雪印メグミルク海老名工場見学他
おしらせ 令和6年度 法人通常総会 他

心動かすものはありますか？

理事長 夏目 智子

令和5年（2023年）が終わりを告げて、卯年から新たな辰年へと時を刻んでいます。

会員の皆様には、日ごろより当法人ふぁみりあネットへのご理解とご支援を賜り、厚くお礼を申し上げます。

さて、皆様にとりまして令和5年はどのような年でありましたでしょうか。新型コロナウイルス感染症に振り回された4年に及ぶ長い期間を経て、私たちにもたらした社会の変容に流されることなく、自分の生き方を見直し、幸福に暮らすためのヒントを得た方も多くいらしたのではないのでしょうか。この一年を振り返り、SDGsに取り組む法人として、消費者として～作る責任 使う責任～を考えてみました。

■ エシカル消費からパーパス消費へ

エシカル（倫理的）消費の言葉も徐々に認知度を高め、消費者がその商品が持つ背景やストーリーについて考えるようになってきました。例えば、生産者が環境保全に取り組み、安全安心の努力を惜しまず、その思いを発信して消費者に届けば、単に商品を購入することから、生産者とのつながりを大切にする消費者へと変わっていきます。そして、自分の消費行動の影響や目的・意義を考えるパーパス（意義・目的）消費となることでしょう。

■ コンビニの拡大と私たちの暮らし

物を売る市場は、世の中の流れに合わせて進化してきました。今やコンビニは社会インフラの一つとも言われ、私たちの生活を変えました。コンビニは近くにあって最低限の日用品が並び、さまざまなサービスを提供する便利さが強みです。単に商品を販売する店舗ではなく、銀行の役目を果たし、端末でチケットも購入できるなど、多様なネットワークに繋がった情報企業です。さらには、自然災害が頻発する日本にとってはライフラインの役割を果たします。深夜の防犯拠点、買い物難民のための宅配や移動販売、移動ATMなど役割はますます大きくなり、公共空間とも言える存在です。コンビニは社会の雰囲気や時代の空気を読むのが上手で、最先端の社会状況が現れる場所ともいえますので、私たちは賢い消費者として利用しましょう。

来る令和6年（2024年）は、辰年。「陽の気が動いて万物が振動するので、活力旺盛になって大きく成長し、形がととのう年」だと言われています。皆様にとりまして、良き年となりますようご祈念申し上げます。



男女共同参画事業



—講演会—

高めよう!共助と支援の質 防ごう!災害関連死

～大規模災害を生き抜くための対策とつながりを考える～

令和5年11月10日(金)
13:30～15:30
袋井南コメン中央ホール
参加者 126名

講師の浅野幸子さんには、昨年の消費者保護(災害救援連携)事業講演会で、災害時において、子ども、女性、障がい者、高齢者の視点からの、助け合いや支援活動の重要性について、現状を踏まえたお話をしていただき、受講者からもっと聞きたいとのご意見が多く寄せられましたので、今年度も男女共同参画(災害救援・生涯学習)事業の講演をお願いしました。



夏目理事長、浅野幸子氏

講師 減災と男女共同参画研修推進センター 共同代表 浅野 幸子氏

阪神・淡路大震災の被災地へ学生ボランティアとして入ったあと、NGOスタッフとなり4年間支援に携る。その後、(財)消費生活研究所、地域婦人会の全国組織で事務局・研究員として働く。2011年6月に発足した東日本大震災女性支援ネットワークに参画、2014年から現職。各地で、防災講演・講座・研修を行いながら、国の「避難所運営ガイドライン」(2016)「男女共同参画の視点からの防災・復興ガイドライン」(2020)策定など、国や自治体の防災政策にもかかわる。法政大学大学院公共政策研究科後期博士課程修了。博士(公共政策学)。専門は災害社会学、地域福祉、災害とジェンダー。早稲田大学地域社会と危機管理研究所招聘研究員、専修大学社会科学研究所客員研究員、大学非常勤講師、福祉防災認定コーチ。

<報告>

行政、地区の防災関係者等、多数の方が聴講。地区防災の内容の貧しさや、現実には男性中心の活動である事等の指摘を受け、男女共同参画の観点からも、地区においては男性の防災隊のみならず、女性防災隊を作り活動していくように図っていききたい。また、自分と子供・高齢者との関わり方、より安心安全な防災の在り方など学ぶ事が多く、聴講した多くの方から、事例に基づいた話が聞けて本当に参加してよかった等、喜びの声をたくさん聞くことができ、充実した講演会であった。



いつどんな時に始まるかもしれない避難所生活。男女共同参画(性別だけのことではない)の視点で避難所を設営するためには、具体的に何をしたらよいのか?様々な場面が想定され簡単には整理がつかないと思います。まずは、同封のチェックシートで確認していただき、個人の知識を広げ、理解を深め、地域の過ごしやすい避難所運営につなげましょう。

—啓発活動—



講演会では
啓発ポスター掲示や
パープルリボン
DV啓発チラシなどを
配付した



「親子で、ごみ減量作戦！」

令和5年12月16日(土)9:30~11:00
山名コミュニティセンター 2F 202室
参加15名 (ふるさと学級生8名、保護者4名、弟妹3名)

— 廃棄物対策課 ごみ減量推進係 —

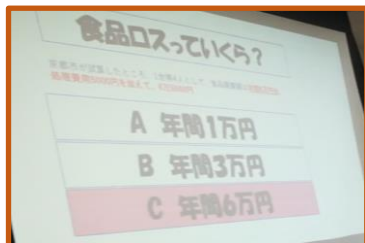


— 寺田さん —
楽しくわかりやすい講座で、学級生も集中していました。

— 萩田さん —
課の業務について具体的に教えてくださいました。



裏紙を利用したA・B・Cの札を使って、地球温暖化に関する袋井市の現状をクイズで学びました。✓



分別ゲームに挑戦！
これは「雑がみ」
どこかな？「わからない」
「可燃ごみ」

正解は…
なんと！すべてが雑がみでした。
袋井市では紙ごみが最も多く、昨年から始めた雑がみ回収の徹底が可燃物減量につながるの、雑がみの出し方の詳しい説明があり、子どもも大人も、大切なことをしっかり学習できました。



子どもたちは、クイズ・ゲームの正答率抜群！温室効果ガス排出抑制の取り組みについてよく理解していてビックリしました。授業でも学習していて知識や関心があるようです。目を輝かせて熱心に取り組む姿に感動しました。

これからも環境保全を実践していただくため、市から「5330運動トイレトペーパー(回収した雑がみ利用)」「脱炭素啓発グッズ」、法人からは「万能分別はさみ」を記念品として学級生に配付しました。

学級生・保護者に聞く、家庭での地球温暖化対策 一部抜粋(大意)

●自分でやっていること
「給食を残さない」
「使わない部屋は消灯」
「食品ロスに気を付ける」

●家族でやっていること
「プラや雑がみの分別」「生ごみの水切り」
「エコバックを使う」「多人数なのでトイレトペーパーを使いすぎない」

●保護者アンケート
「分別方法など最新の情報を入手し対応」「子どもを含めリサイクルの知識を共有」



参加して下さったふるさと学級生・ご家族の皆さん、
ご指導いただいたコミセン・廃棄物対策課の皆さん、ありがとうございました。

続！ダンボールコンポスト作りで53%をめざそう！

今年度は学習対象を若い世代に拡大する事を目的で、山名コミセンのふるさと学級活動に協力をお願いし、上記の通り開催しました。また、昨年の「ダンボールコンポスト作り」の続編として、受講者に持ち帰っていただいたコンポストの状況調査も10月に行いました。「ごみ減量につながる」「ランニングコストがかからない(光熱費や材料費等)」と継続されている方がいる一方で、「ダンボールがふやける」「仕分けに手間がかかる」等の理由で断念された方も多くいます。しかし、「あらためて堆肥を作りたい」「体験の機会があれば参加したい」等の意見もあり、皆さんの環境に対する意識が高いことを感じました。今後、法人として皆さんの後押しが出来るような、情報提供・交換の場を設けることが出来ればと考えます。

— アンケートにご協力いただきありがとうございました —

令和5年度 託児・高齢者 サポーター養成講座 を開催しました。



今年度も袋井市役所担当課ほか、介護支援事業所「ここあい」さん、袋井消防署救命救急士の皆さん、美術家スズキサチコさん、JAF袋井支部、袋井市訪問保健師重野説子さん、静岡県人権啓発センターの鈴木利弘さんなど、たくさんの方にお話をいただき講座を開催することができました。



毎年好評のベテラン協力会員さんの体験談、今年は天野美和子さん、吉川仁さんにお話をいただきました。



ご参加、ご協力
ありがとうございました。

全体の受講者 41名
託児サポーター養成講座
修了者 17名
高齢者サポーター養成講座
修了者 15名



子どもの育成

放課後児童クラブ

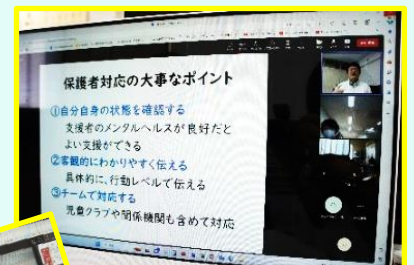
袋井市教育委員会 令和5年度 放課後児童クラブ支援員等研修会
—支援員等の資質向上を目指す—

第1回 「ウェブ会議の開催・参加について」
6/28(水)午前 教育会館4F

第2回 「子ども理解と支援対応について」
9/4(月)午前 教育会館4F

第3回 「放課後児童クラブにおける効果的な保護者対応」
10/31(火)午前 教育会館3F

各クラブ教室等のパソコンとつなぎ、初めてのウェブ研修会を実施。
(ウェブ会議ツール「チームズ」利用)
ウェブ会議での研修会開催は、参加による移動時間の削減等で
クラブ業務の効率アップにつながった。



第3回では、初めてのウェブ研修会でしたが、接続面の問題もなく集中して受講ができました。市の事前研修や、事務局との接続試行の成果が出たと思います。

【全体研修会開催】12/16(土)掛川グランドホテル10階 夏目理事長・高木副理事長から、職員への芳いの言葉と、研修では作成中の法人ホームページQRコードの読み取りや説明を行いました。



11月18日(土) 8時～
8名参加

愛野メモリアルロード 花壇植栽



まずは花壇の整地です。
ヨイショ！コラショ！



花壇の周りを掃除して、はいっチーズ！



今回は2つの花壇のレイアウトを
変えてみました。



他団体交流



ふらっと祭2023inコスモス館 令和5年11月26日(日)9:30～13:00

協働まちづくりセンター「ふらっと」の登録団体としてパネル展示に参加しました。本格的な開催は4年ぶりです。販売・ものづくりブースも再開し、多くの来場者で賑わっていました。



法人事業と、市から受託している2事業(ふくろいファミリー・サポート・センター、放課後児童クラブ)の活動の様子として、3枚のパネルを掲示した。

生涯学習(徳育) 令和5年度 袋井市

人権文化創造講演会

法人理事4名聴講

子どもを理解する力

～4人の発達障害の子育てから学んだこと～

講師：自閉症スペクトラム支援士
特別支援士 傾聴心理士

堀内祐子さん

令和5年 **11月19日(日)** 13:30～
メロープラザ 多機能ホール

戦後生まれの企業戦士も、高度成長期を乗り切って、今や80歳は目の前だ！子育ては遠い昔のおぼろげだ。講師の子どもは、零点が当たり前。今では、経営者、作家等々で活躍している。実体験からくるパワフルな講演で、非常に説得力があり、子育てに悩む保護者の方々には、多くのヒントを与えたと思われる。漠然とした中にも、人権問題の幅の広さと奥深さに、少しだけ理解が深まった1日でした。

夏目善行

●●● ふぁみりあネット役員研修会 ●●●

10月28日(土)

13:30～15:30

式典・記念講演

静岡県男女共同参画センター

あざれあ 6階大ホール

法人理事7名聴講



質問された方へも、熱心に
且つ歯切れよくお話をされ
る上野さん

あざれあ開館30周年 上野千鶴子さん講演会

「ジェンダー平等の未来のために あなたにできること」

日本のフェミニズムを牽引してきた上野さんの講演は感動的でした。まず、フェミニズムの成果と課題の総点検から始まり、時代遅れな社会保障制度が女性の就労を抑制してきたとジェンダー格差社会の現実を話されました。日本は今、人生100年時代という超高齢社会を迎えています。介護保険制度は20年以上を経過して利用者が必要なケアを受けられなくなりつつあるといえます。上野さんが、「社会的弱者ともいえる高齢者と子どもを守らないで何を守る」と強調した後に下図が映し出されると、満席の会場は高揚感に満たされました。「人権のない環境から人は育たない」と力説する団塊世代代表の上野さんは、先頭で風を切っているように感じました。

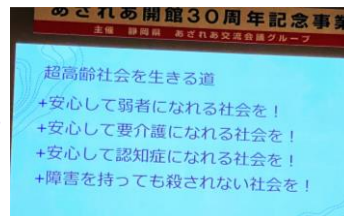


社会学者・東京大学
名誉教授・認定NPO法
人ウィメンズアク
ションネットワーク
(WAN)理事長

メモを取る聴講者が多かった映像です。

超高齢社会を生きる道

- * 安心して弱者になれる社会を！
- * 安心して要介護になれる社会を！
- * 安心して認知症になれる社会を！
- * 障害を持っても殺されない社会を！



●●● 静岡県地域女性団体連絡協議会(県地女連) ●●●

● 県地女連研修会「水害後の生活再建と支援制度活用の基礎知識」

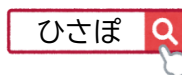
講師 弁護士・防災士 永野 海 氏

9月25日(月)13:30～15:00袋井市教育会館 大会議室 法人理事10名参加

会場には県内から40名余りの方が集まり、事例をふまえた、水害の備えと心構えや法律的観点からの話を伺いました。水害後の生活再建と支援制度活用の基礎知識について非常に有益な情報※を知り、改めて現在の制度を良く理解しておくことの大切さを強く感じました。



※永野講師が作成した支援制度ツール
「ひさば」からも、多くの有益な情報を得ることができます。是非チェックしてください！



naganokai.com



● 第72回 静岡県地女連大会

男女共同参画社会の実現をめざして

—— 発信・連携・実践 ——

11月30日(木)10:30～14:45

静岡県男女共同参画センター「あざれあ」
法人理事4名参加

事例発表(4事業)5団体／記念講演 法政大学前総長・名誉教授 田中 優子 氏

大会会場には200名ほどの会員が参集して開催されました。

記念講演では「江戸から見る循環型社会とジェンダー」と題して、江戸時代から暮らしの中にあつた循環型社会の仕組みとその時代に生きた女性達のジェンダーについて、いくつかの明確な資料とともに講演されました。特に真のジェンダー平等を達成する為の提言は心に深く感じ入りました。

●●● 静岡県 消費者被害防止 ●●●

静岡県 県民生活課より

県では、靈感消費をはじめとする消費者被害を未然に防ぐため、リーフレットを作成し、最新の消費者トラブルや消費生活に関する様々な情報を、県民の皆様提供しています。このたび、若者の消費者被害防止について取り上げた12月号を発行しました。

SNS は便利なコミュニケーションツールですが、悪質商法の勧誘手口として悪用されるケースもあります。美顔や脱毛などの美容関連、マッチングアプリなどは、若い世代の男女ともに被害が多発しています。人と話すことで、気づくことや情報提供できることもあると思いますので、同封のリーフレットを活用し、家庭や友人との日常の会話で話題にあげて、被害を防いでいきましょう。



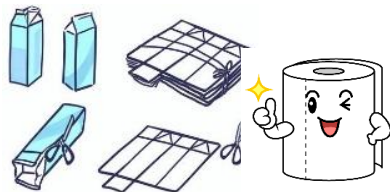
12月7日(木)
7:45～17:30
行ってきました



鈴廣かまぼこの里と

雪印メグミルク海老名工場見学

工場見学では、品質や製品リサイクルなど環境配慮に力を注いでいることを再確認しました。見学後、製品を試食した容器の本体やフタなど、素材ごとに分別するトレイが置いてありました。



1リットルの紙パック6枚でトイレトーパー1個が作れるそうです。
回収してもらえるように、*きれいに洗う
*広げる *他の紙製品と一緒にしない
など、分別方法を守ることが鉄則ですね。



担当の方の説明や対応が素晴らしく、会社の姿勢が感じられました。
よく目にする商品が、手元に届くまでを知ることが出来ました。



美味しいミルクは質の良いエサから。
かわいい模型の小屋のエサは、手に
取ってみることができます。



お土産は、メグミルク牛
乳のミニチュアグッズ
(消しゴム)でした。



鈴廣かまぼこの里では、美味しい食事をいただき、食堂もお土産売り場も広くて、ゆったり過ごせました。
たくさん歩いてちょっぴり疲れることもありましたが、
天気にも恵まれ、楽しい見学やお土産も買えたり、皆
さんとのおしゃべりで爽やかな気分でした。



皆さん、ご参加ありがとうございました。
初めてご参加いただいた方、前回から半年ぶりの方、本当に久しぶり
にお会いした方、楽しい時間を共にできて幸せな気持ちになりました。
参加された方には写真を同封しましたので、思い出のアルバムに添え
ていただくと嬉しいです。

2050年「ゼロカーボンシティ」宣言市 動画で「脱炭素」を学ぼう！

P4環境保全で「脱炭素」に少し触れましたが、
袋井市環境政策課の情報を捕捉します。
クイズを使ったわかりやすい内容で、2分30秒の
動画なので右のQRコードから是非ご覧ください。

(袋井市ホームページからも確認できます)

袋井市は「ゼロカーボンシティ」の実現を目指し、市民、事業者と一丸
となり、全力で施策に取り組んでいくことを宣言しました。
(令和4年2月1日)

ゼロカーボンシティとは？
市内における、日常生活・経済活動などによる二酸化炭素排出量から、
森林などによる吸収量を差し引いて、**二酸化炭素排出量の合計を実質
ゼロ**にすることです。

NPO法人ふぁみりあネット事務局 (平日9-16時)
〒437-0023 袋井市高尾783-4
<TEL>0538-43-2288 <FAX>0538-31-5211
<メールアドレス> familiar-net@cy.tnc.ne.jp
<ホームページ> https://familiar-net.jimdo.com/
(新ホームページ 準備中)

本年もお世話になりました。
来年もよろしくお願いいたします。



お知らせ

令和6年度 法人通常総会

* 日時 令和年4月28日(土) 11:00

* 場所 ハウスレストラン レスぺランス

ランチも予定しています。

ぜひ来年のスケジュールに！

詳細は、次号(春だより)でご案内します。

編集後記

今回の冬だよりでも、盛りだくさんの行事がありましたが、
皆様のご協力のお陰で、滞りなく無事に終えることができました。
いろいろな行事の写真をしながら、様々な思い出
に浸っていただけたら幸いです。また、各講座から得た多
くの学びを、今後に生かしていただければと思います。

今年も残すところ僅かとなりました。皆様どうぞ良い年を
お迎えください。

杉浩子、兼子千津子